

# 自然公園の経緯と役割 について

自然公園のあり方懇談会

平成15年12月8日(月)



# 自然公園制度のレビュー(総論)

## (1) 大正時代から戦後まで

### 日本人の風景観の変化

名所・旧跡を愛でる点的な風景観

西洋的な自然の大風景の受け入れ

### 社会経済的な背景

国威発揚・ナショナリズムの高揚

内外の観光客誘致

# 自然公園制度のレビュー（総論）

## (2) 戦後から高度経済成長期の初期まで

観光客誘致を目指した公園指定

興味地点を積極的に公園化

国定公園、県立自然公園の制度化

経済復興に伴う転換の発生

野外レクリエーション、大衆観光旅行の普及

資源開発、農地開拓等との転換

# 自然公園制度のレビュー(総論)

## (3) 高度経済成長期から地球サミットまで

### 全国的な大規模開発の進展

電源開発、埋立、道路建設等との調整

### 国立・国定公園の指定の続行

自然保護重視の国立公園

野外レクリエーション需要にも応えた国定公園

### 公園利用者数の急増

マイカー規制の実施

リゾートに対し、利用のあり方を検討

# 自然公園制度のレビュー(総論)

## (4) 地球サミット以降

### 生物多様性保全を基軸にした施策

開発事業においても生物多様性に配慮  
種の保存法など新規業務の発生  
自然公園法も平成14年に大幅改正

### 社会情勢の大きな転換

自然公園等施設整備費の公共事業化  
環境保全活動の活発化、地方分権など

## 2. カテゴリー別にみた自然公園の役割

- (1) 日本の風景保護
  - (2) 日本の生物多様性の保全
  - (3) 観光・野外レクリエーションの場の提供
  - (4) 自然体験利用の場の提供
  - (5) その他副次的な役割
- 

## (1) 日本の風景保護の役割

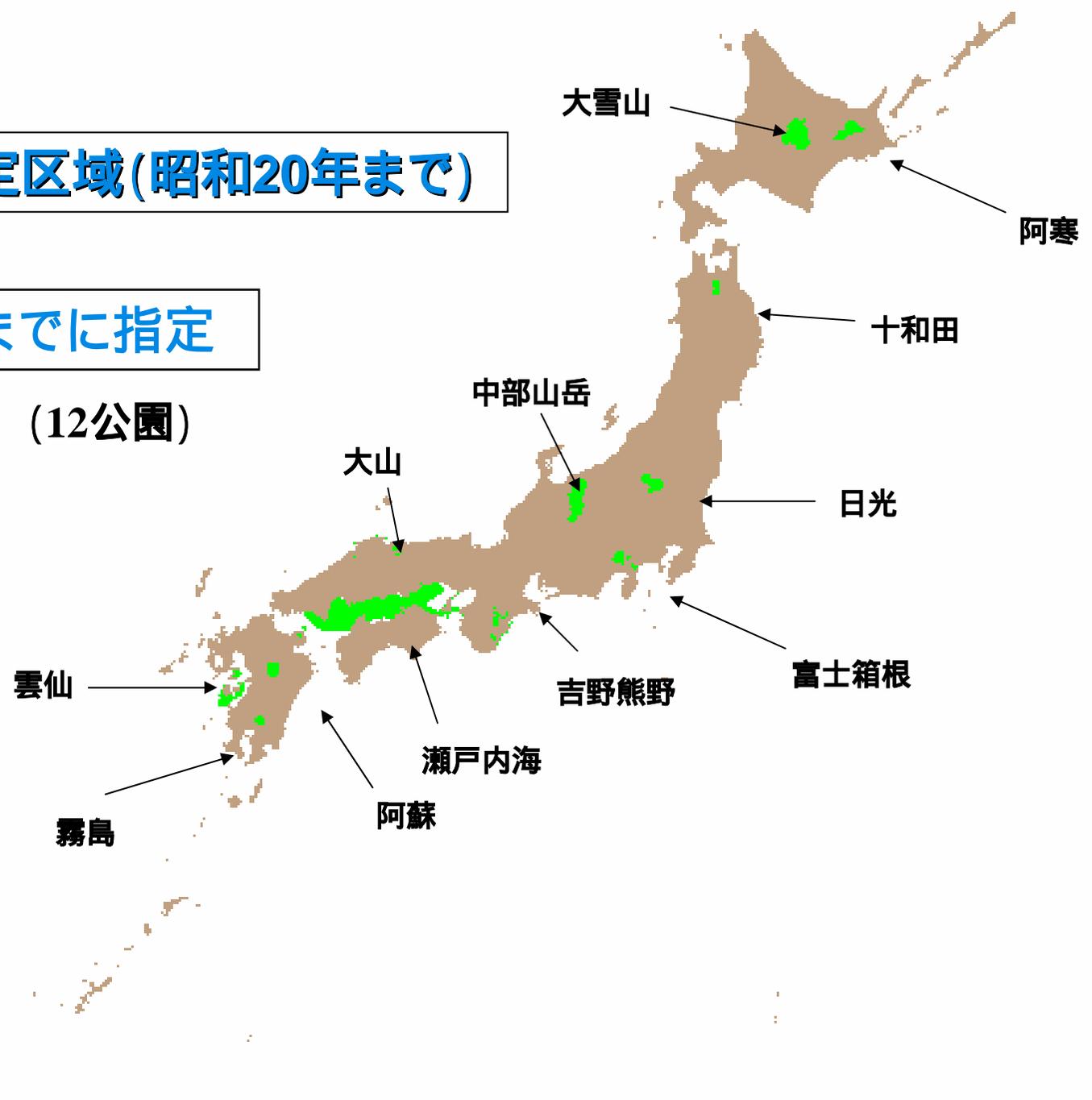
### ➤ 国立公園ノ選定ニ関スル方針(昭和6年)

- ・ 同一型式ノ風景ヲ代表シテ傑出セルコト
- ・ 自然的風景地ニシテ其ノ区域広大ナルコト
- ・ 地形地貌ガ雄大ナルカ或ハ風景ガ変化ニ富ミテ美ナルコト
- ・ 神社仏閣、史跡、天然記念物、自然現象等教化上ノ資料ニ豊富ナルコト

# 国立公園指定区域(昭和20年まで)

■ 昭和20年までに指定

(12公園)



# 国立公園指定区域(昭和35年まで)

■ 昭和20年までに指定

■ 昭和35年までに指定

(7公園)

西海

伊勢志摩

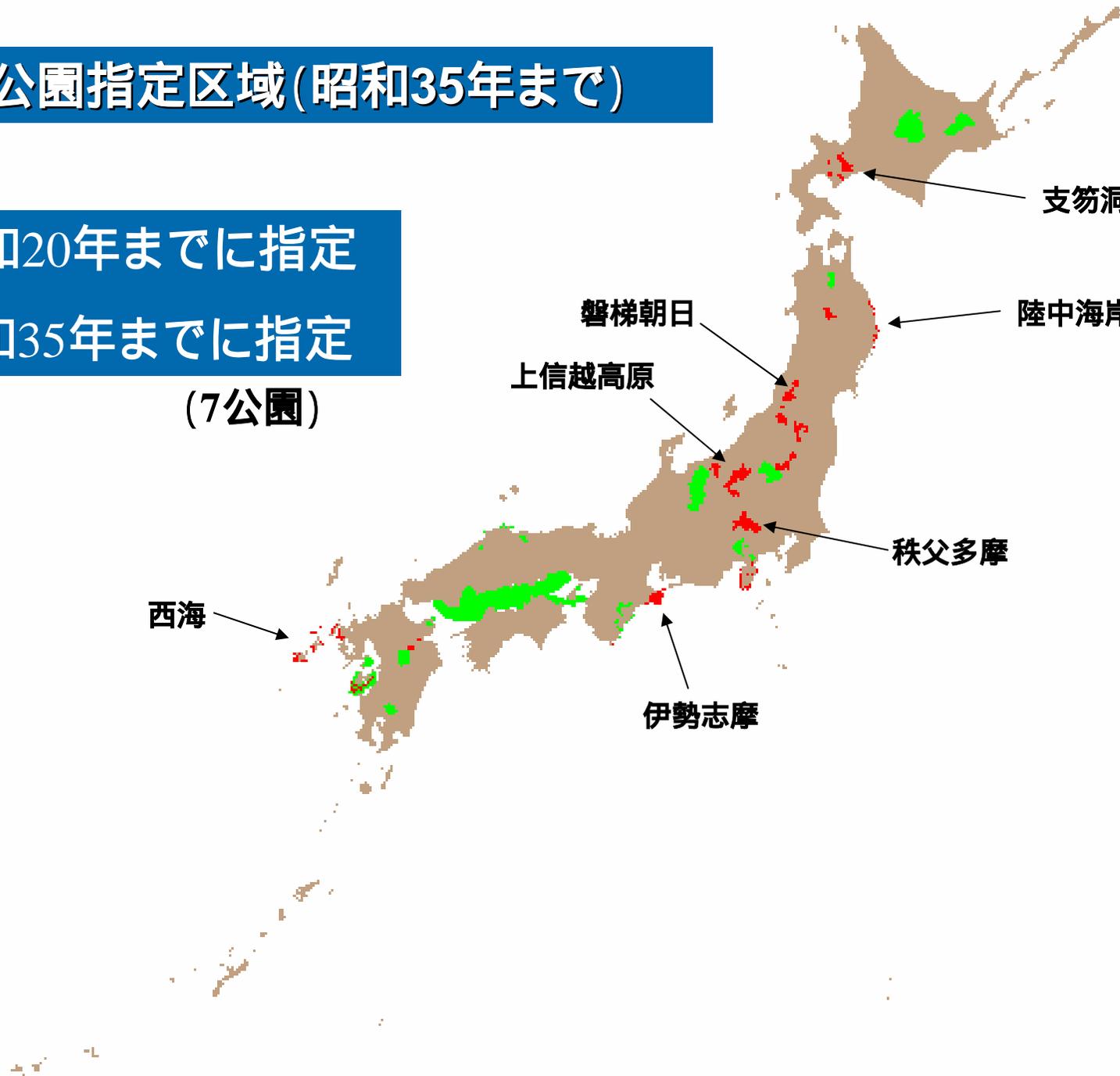
上信越高原

磐梯朝日

秩父多摩

陸中海岸

支笏洞爺



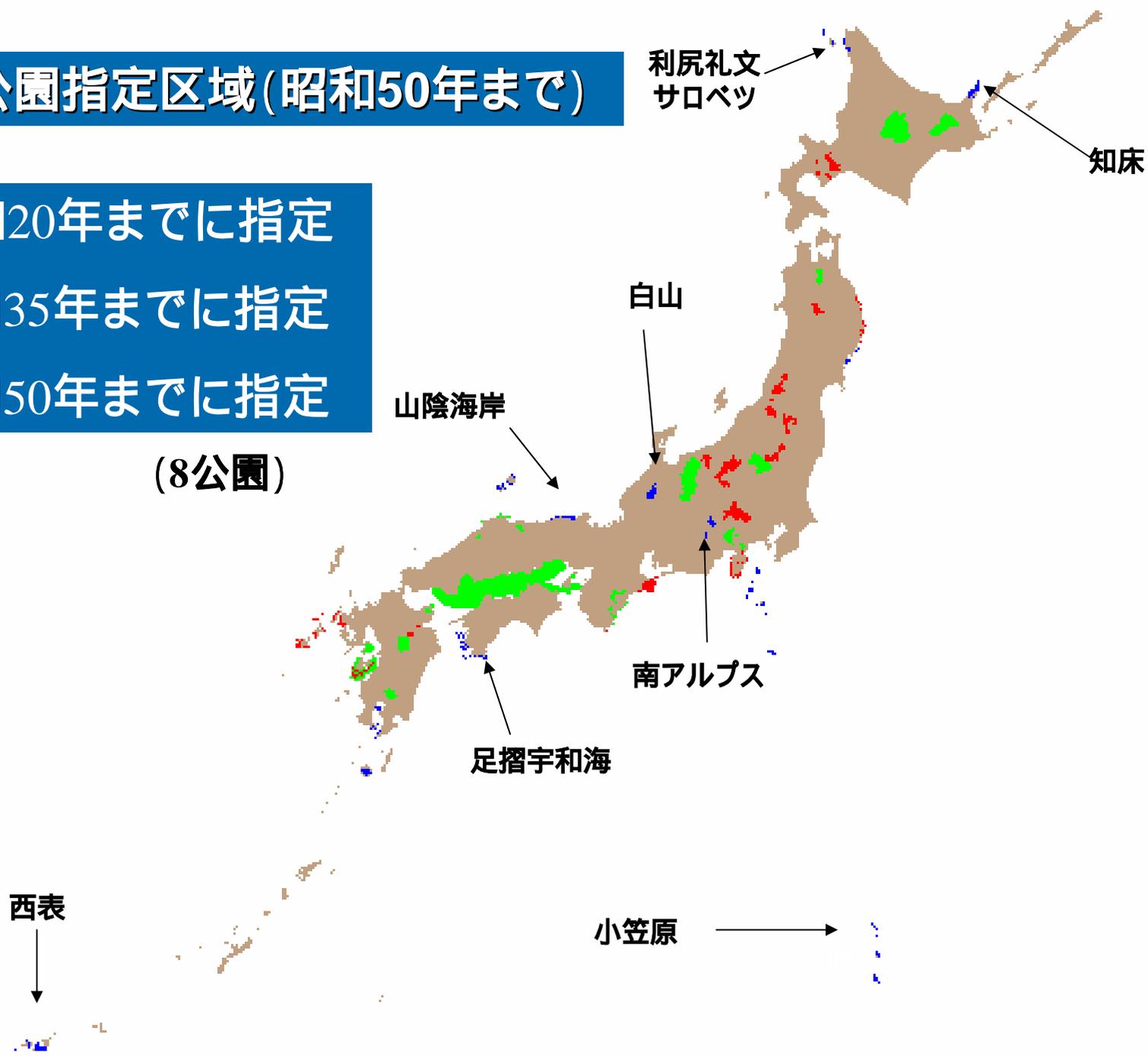
# 国立公園指定区域(昭和50年まで)

■ 昭和20年までに指定

■ 昭和35年までに指定

■ 昭和50年までに指定

(8公園)



## 国立公園指定区域(現在まで)

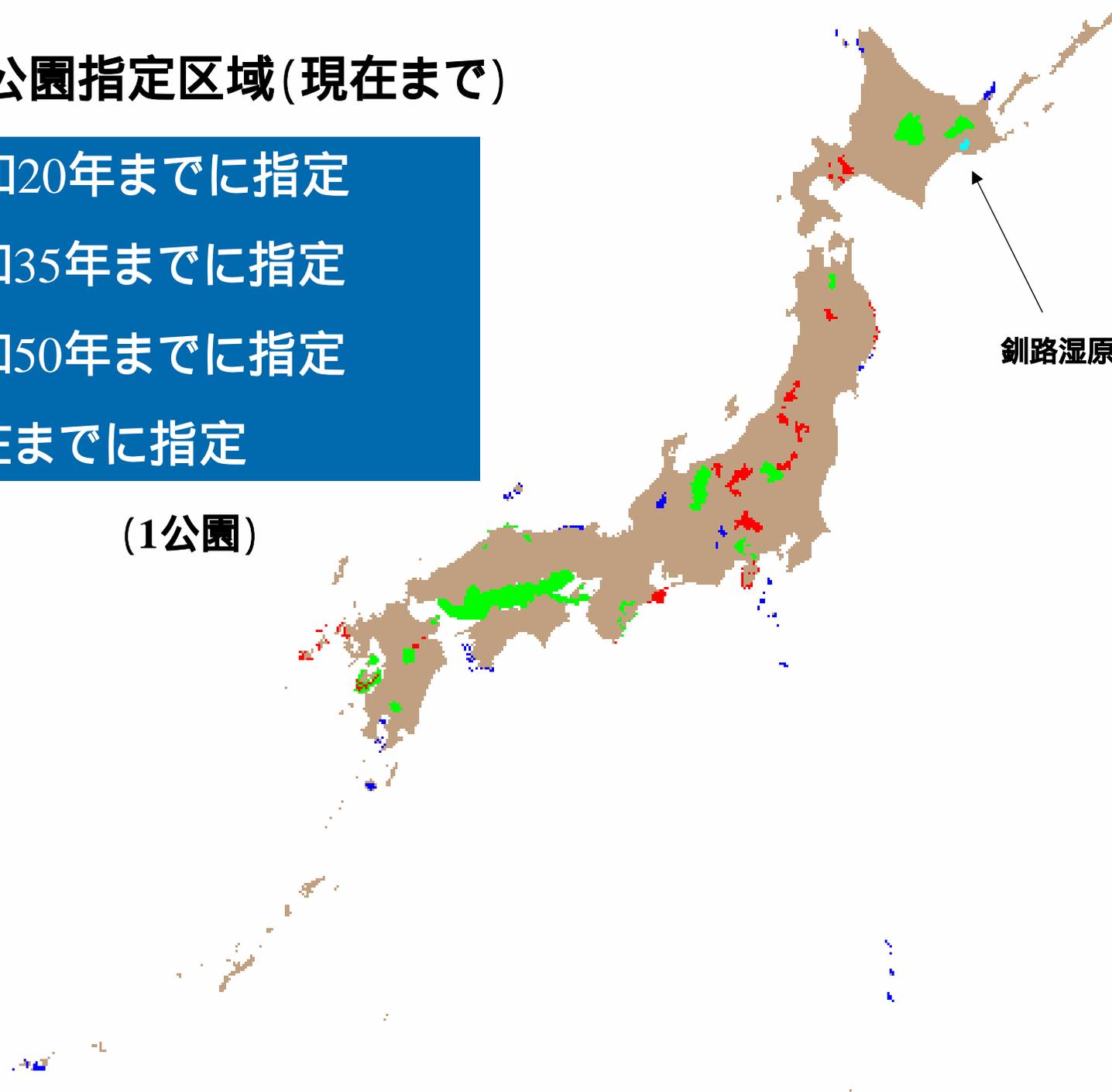
■ 昭和20年までに指定

■ 昭和35年までに指定

■ 昭和50年までに指定

■ 現在までに指定

(1公園)

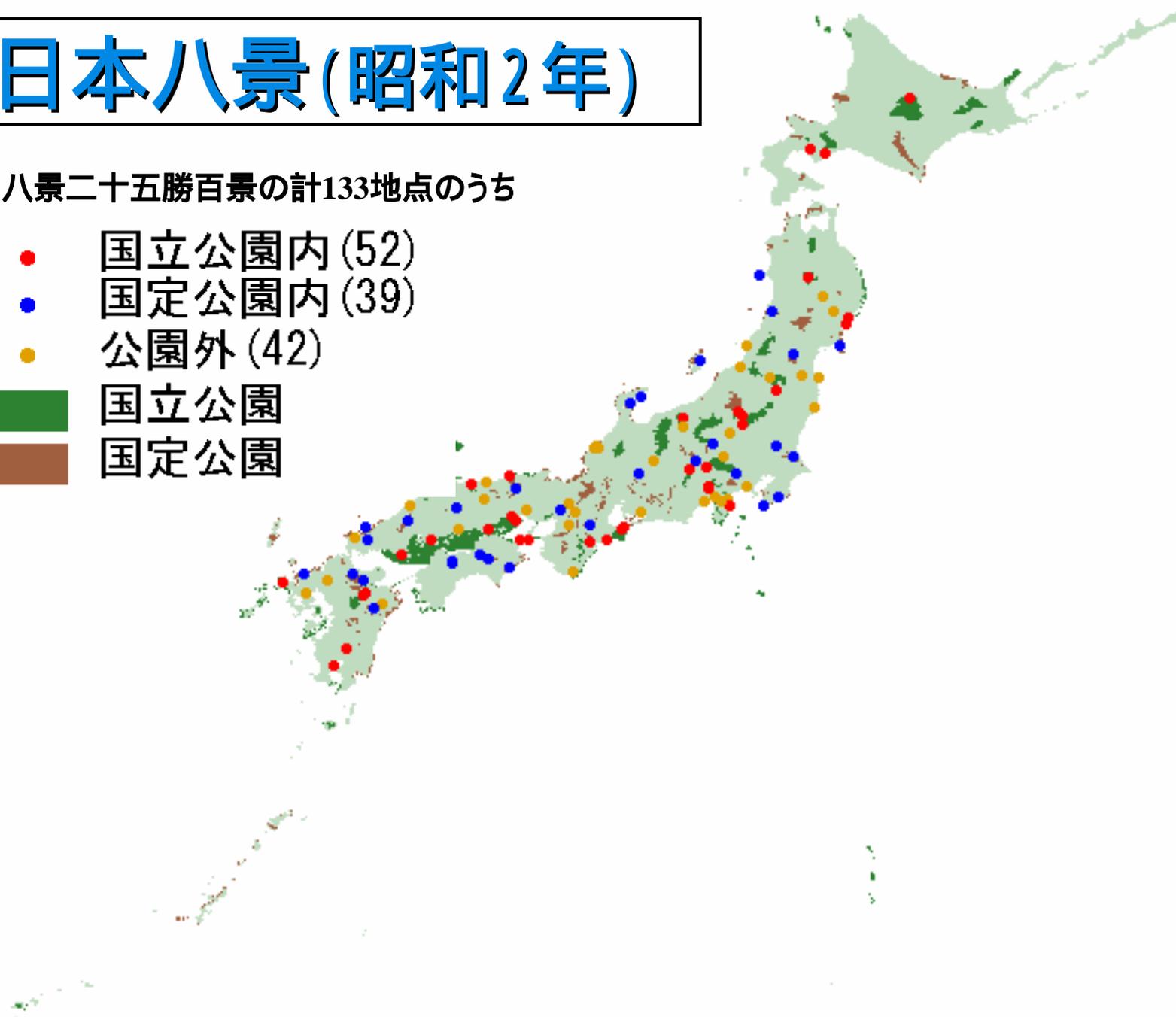


釧路湿原

# 日本八景(昭和2年)

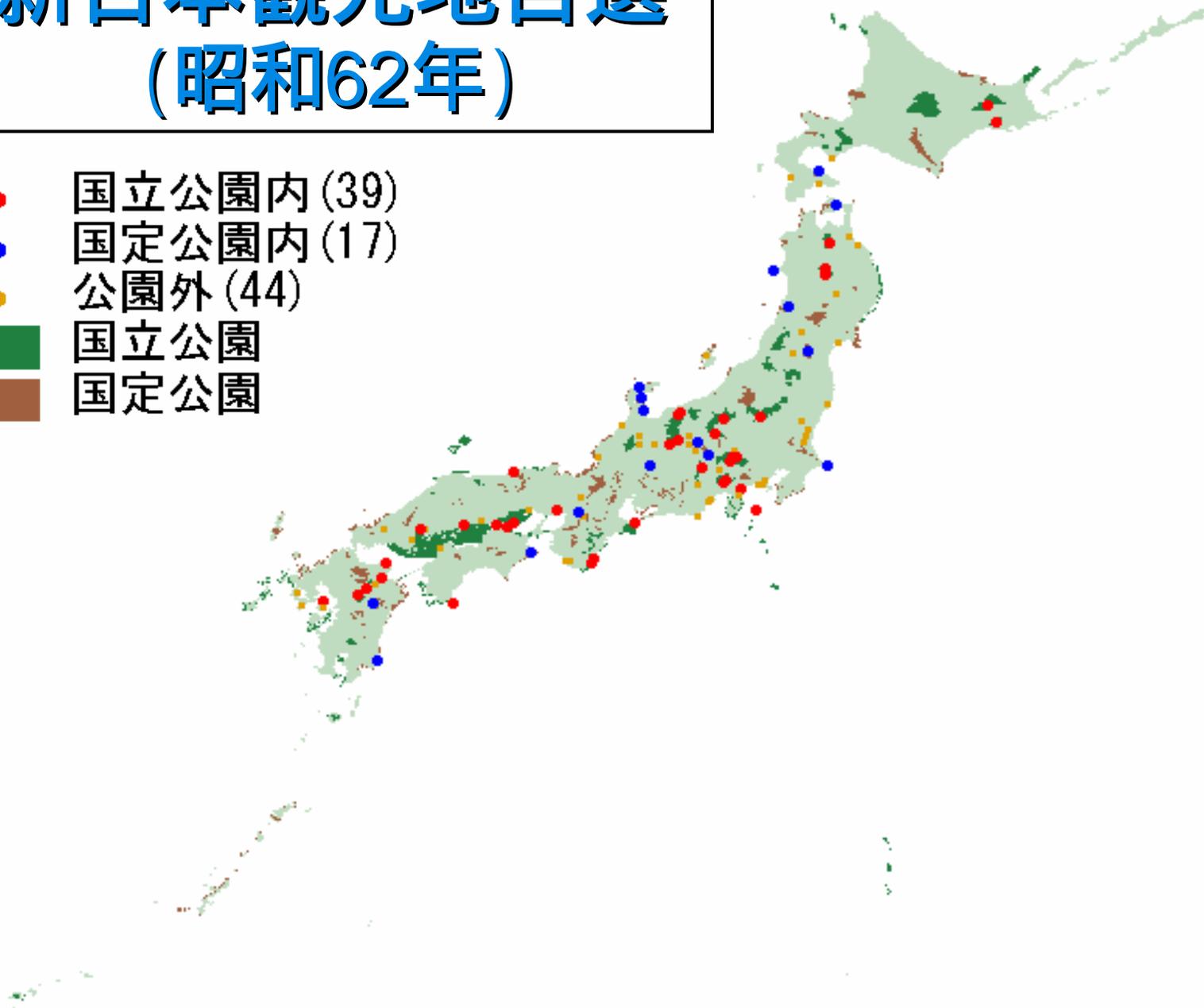
八景二十五勝百景の計133地点のうち

- 国立公園内 (52)
- 国定公園内 (39)
- 公園外 (42)
- 国立公園
- 国定公園



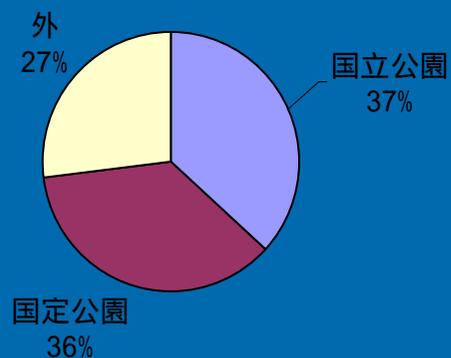
# 新日本観光地百選 (昭和62年)

- 国立公園内 (39)
- 国定公園内 (17)
- 公園外 (44)
- 国立公園
- 国定公園

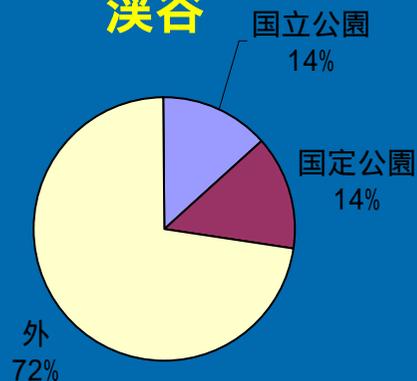


# 自然景観資源の保護の状況

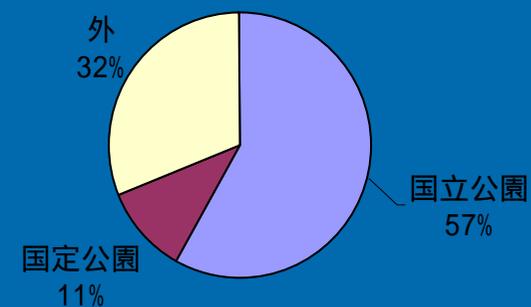
## 海食崖



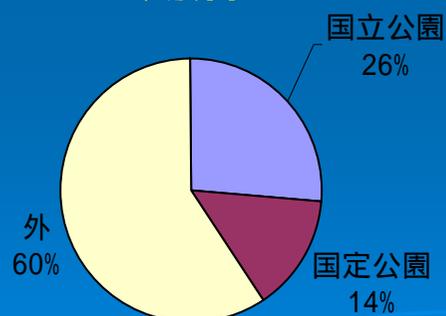
## 渓谷



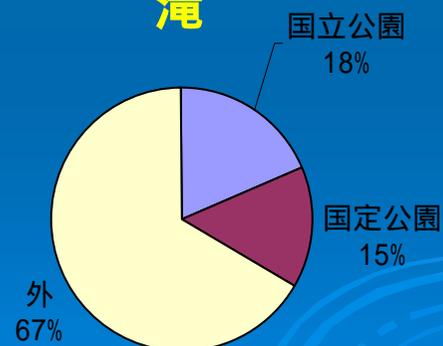
## 火山



## 湖沼



## 滝



# 風景保護の効用

## 1. 当該自然公園の価値を高める

- 利用者により深い感銘を与える

## 2. 生物多様性の保全につながる

- 結果的に、ひとまとまりの区画を  
総体的に保護することにつながる

## 3. 地域住民の原風景を保護する

- 地域で慣れ親しんだ風景を保護する

## (2) 日本の生物多様性保全の役割

### ➤ 国立公園基本計画標準(昭和27年)

調査項目のうち、「景観関係」として、以下の事項を規定

(1) 地形

(2) 地質

(3) 地被 - 針葉樹林、広葉樹林、等

(4) 特殊景観

- 地学景観(瀑布、地獄現象、雲海、等)

生物景観(獣類、鳥類、昆虫類、魚類、特殊植物)

文化景観(社寺、史蹟、農林業、漁業、放牧、等)

# 生物多様性保全のための 国土区分と国立・国定公園



# 国土区分別の各植生区分の占める割合

■ 国立・国定公園内  
■ その他の地域

## 1. 北海道東部区域

自然林・自然草原	半自然地	その他

## 2. 北海道西部区域

自然林・自然草原	半自然地	その他

## 3. 本州中北部太平洋側区域

	半自然地	その他

## 4. 本州中北部日本海側区域

	半自然地	その他

## 5. 北陸・山陰区域

	半自然地	その他

## 6. 本州中部太平洋側区域

	半自然地	その他

## 7. 瀬戸内海周辺区域

	半自然地	その他

## 8. 紀伊半島・四国・九州区域

	半自然地	その他

## 9. 奄美・琉球諸島区域

自然林・自然草原		その他

## 10. 小笠原諸島区域

自然林・自然草原	半自然地	その他

各植生区分の占める割合 ■ 自然林・自然草原 ■ 半自然地(二次林・二次草原・植林地) ■ その他  
 (植生自然度9、10) (植生自然度4~8)

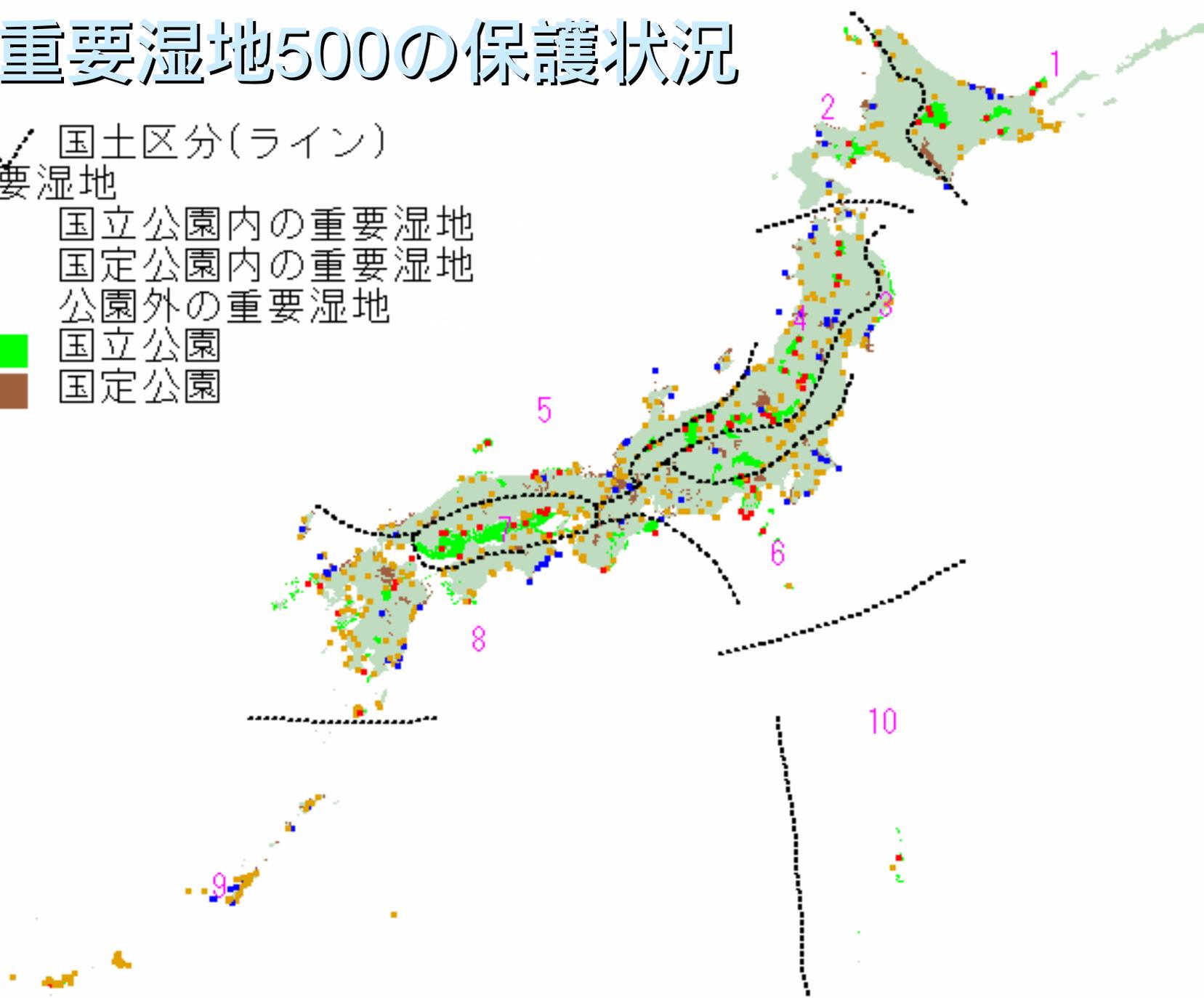
# 重要生態系の保護の状況

- 国土区分(ライン)
- 重要区域
- 国立公園内の重要地域
  - 国定公園内の重要地域
  - 国定外の重要地域
  - 国立公園
  - 国定公園



# 重要湿地500の保護状況

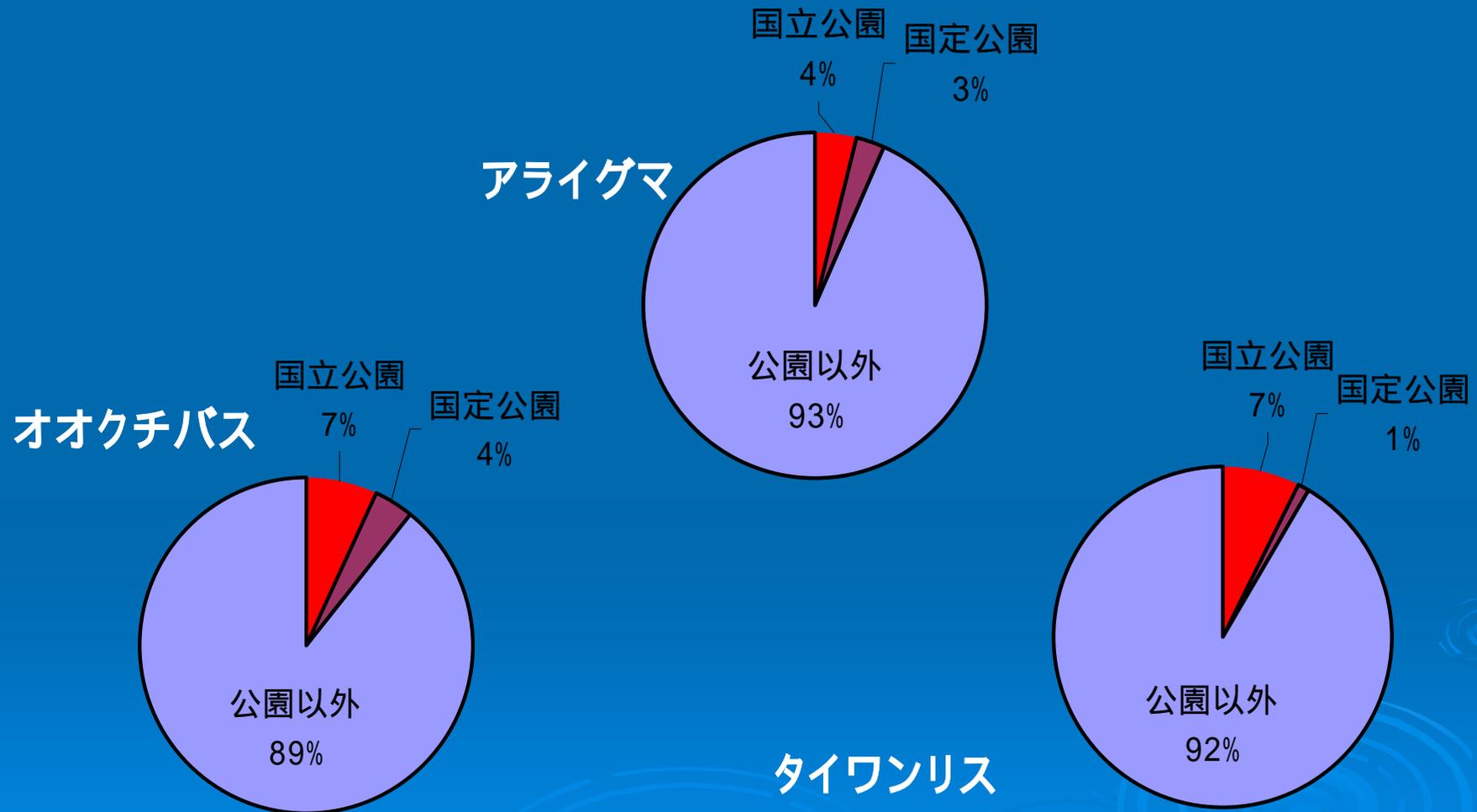
- 国土区分(ライン)
- 重要湿地
  - 国立公園内の重要湿地
  - 国定公園内の重要湿地
  - 公園外の重要湿地
- 国立公園
- 国定公園



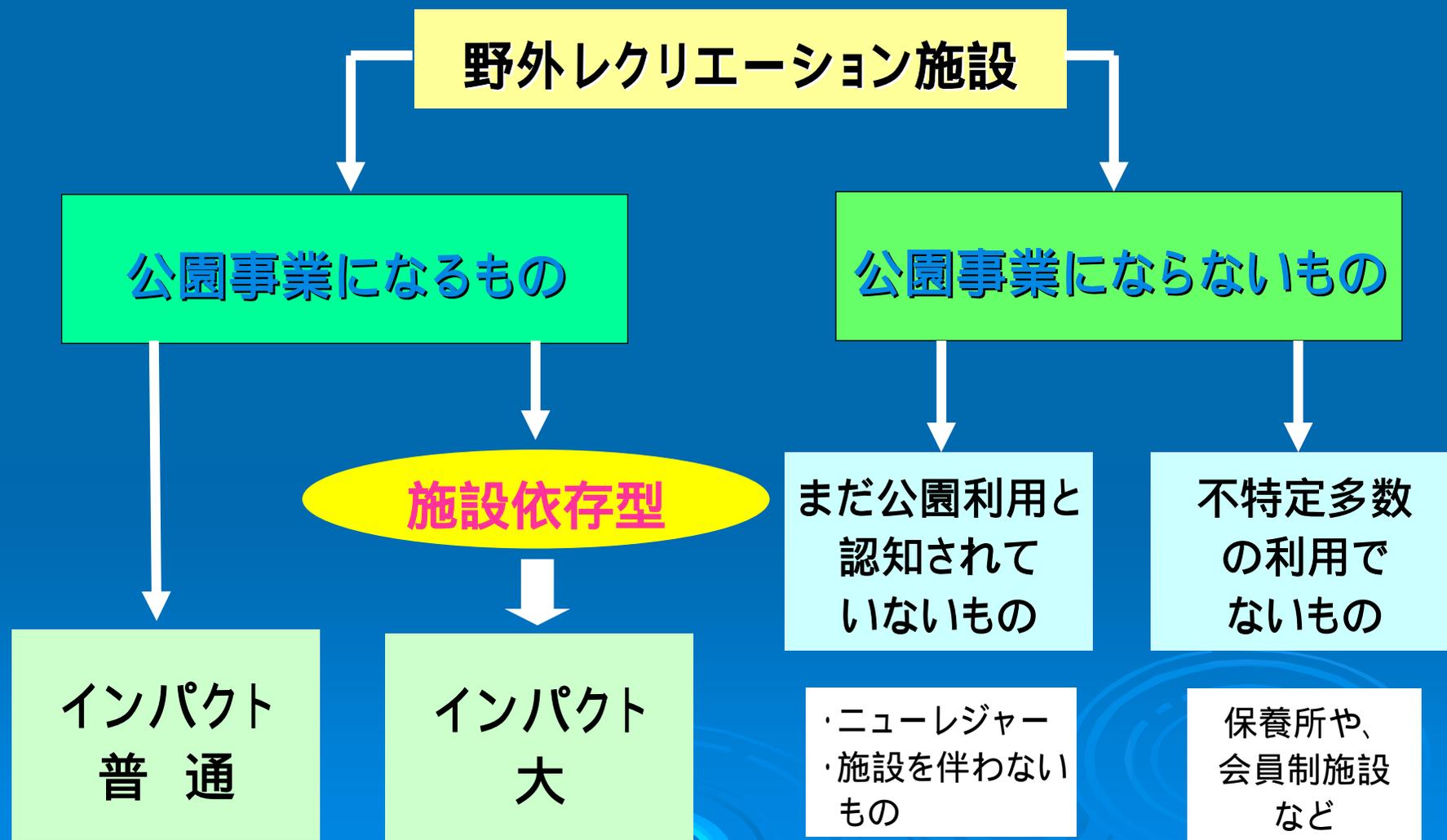
## 生物多様性の観点を重視して特別保護地区に指定されている事例

指定理由の分類		特別保護地区名
植生	湿原	田代湿原、戦場が原・鬼怒沼・三池田代、大谷地、苗場、弥陀ヶ原
	極層林	伊勢神宮内宮宮域林、伊勢神宮外宮宮域林
	途中層林	野州原
	源流部	白根山系、御蔵島南部、釈迦ヶ岳前鬼〔前鬼〕・大台ヶ原・大杉峡谷
	自然度	十和田内壁、青木ヶ原・山中ハリモミ林・片山蓋山頂・精進口登山線沿線、大路池、三頭山、神山・金時山・湯板山・文庫山、見江島・弁天島、佐波留島・桃頭島、摩耶山・高尾山・林山、篠山、浦内川源流部
	単一花木群落等	〔単一花木群落〕 硫黄山、二子山、つつじ山 〔高山植生〕 苗場・黒姫山 〔時間的植生遷移〕 磐梯山、桜島東溶岩原 〔垂直植生分布〕 霧島山群〔大浪池〕
	動物	ルシャ・テッパンベツ、岩尾別海岸、佐賀部、日出島、利島海食崖・御蔵島海岸部・大野原島、見江島、佐波留島、辻岳
	天然記念物	〔森林〕 登別、黒子島、生島・宮島、大山・高尾・三瓶山、屋久島・佐多岬、甕岳六観音池、岩手山、九木崎、北向山、弥山・那智山 〔湿原〕 仙石原 〔単一花木群落〕 高湯賽河原 〔マリモ〕 雄阿寒岳 〔動物〕 高崎山、日出島・三貫島、耳浦・日御崎、阿値賀島、椿島

# 外来種の生息分布面積に 国立・国定公園が占める割合



### (3) 観光・野外レクリエーションの場の提供



# 利用に関する公園事業

## ➤ 国庫補助の対象施設

- ・道路、橋、駐車場、給水施設、排水施設
- ・広場、園地、休憩所、野営場、公衆便所、  
博物展示施設、避難小屋

## ➤ 国庫補助の対象外の施設

- ・運動場、水泳場、舟遊場、スキー場、スケート場、  
乗馬施設
- ・宿舎、給油施設、公衆浴場
- ・博物館、植物園、動物園、水族館、野外劇場、等

# 大規模な観光施設に対するチェック

- 公園計画決定の段階

立地

- 公園事業決定の段階

規模

- 公園事業認可の段階

施工方法

- 公園事業以外の場合は「許可基準」で対処

# 大規模な観光施設に関する取扱

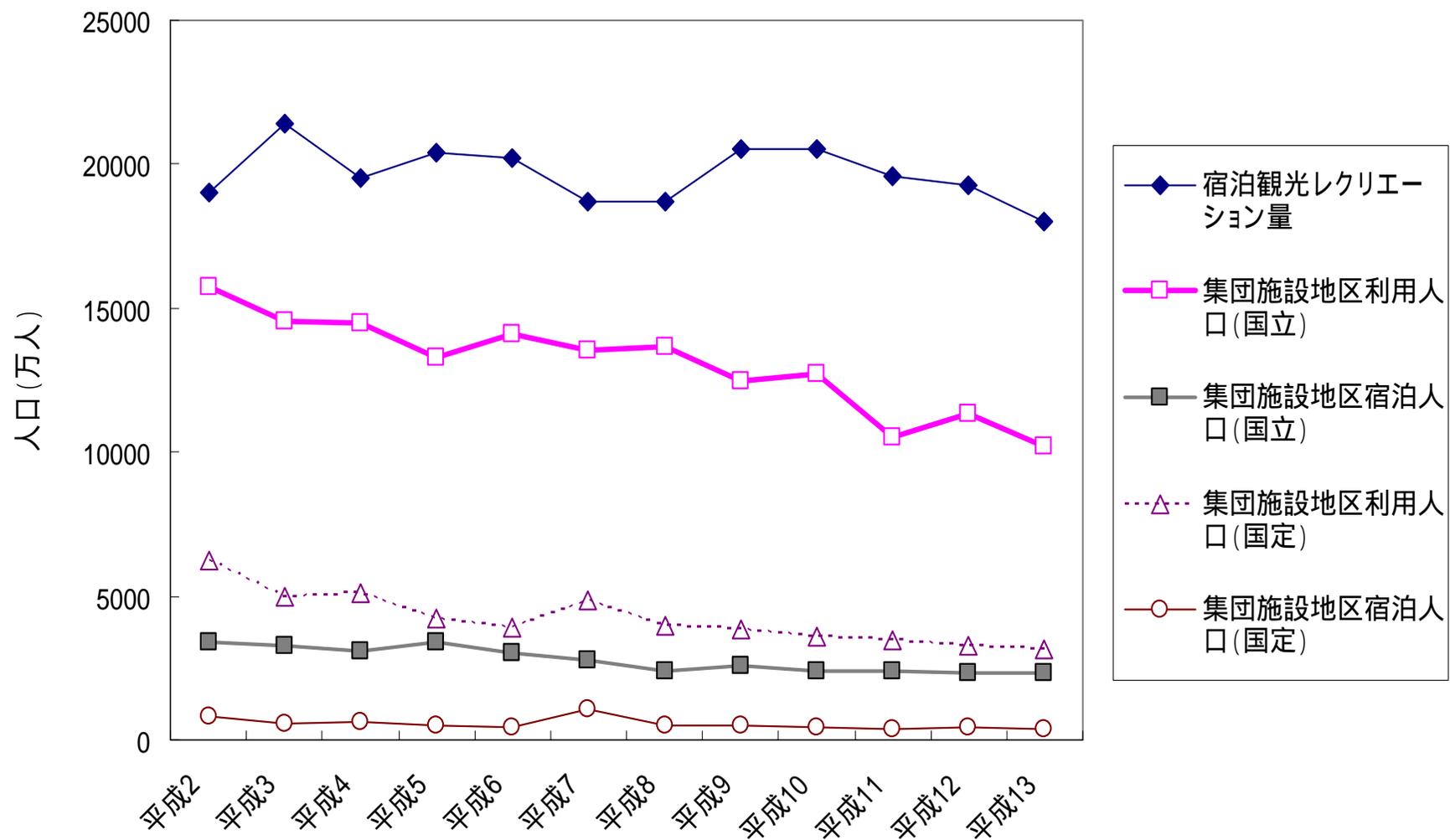
昭和48年 ゴルフ場を公園事業から削除  
ゴルフコースの用に供するための土地の  
形状変更は、環境庁長官権限へ

昭和57年 テニスコートを公園事業として取り扱うに  
あたっての要件を提示

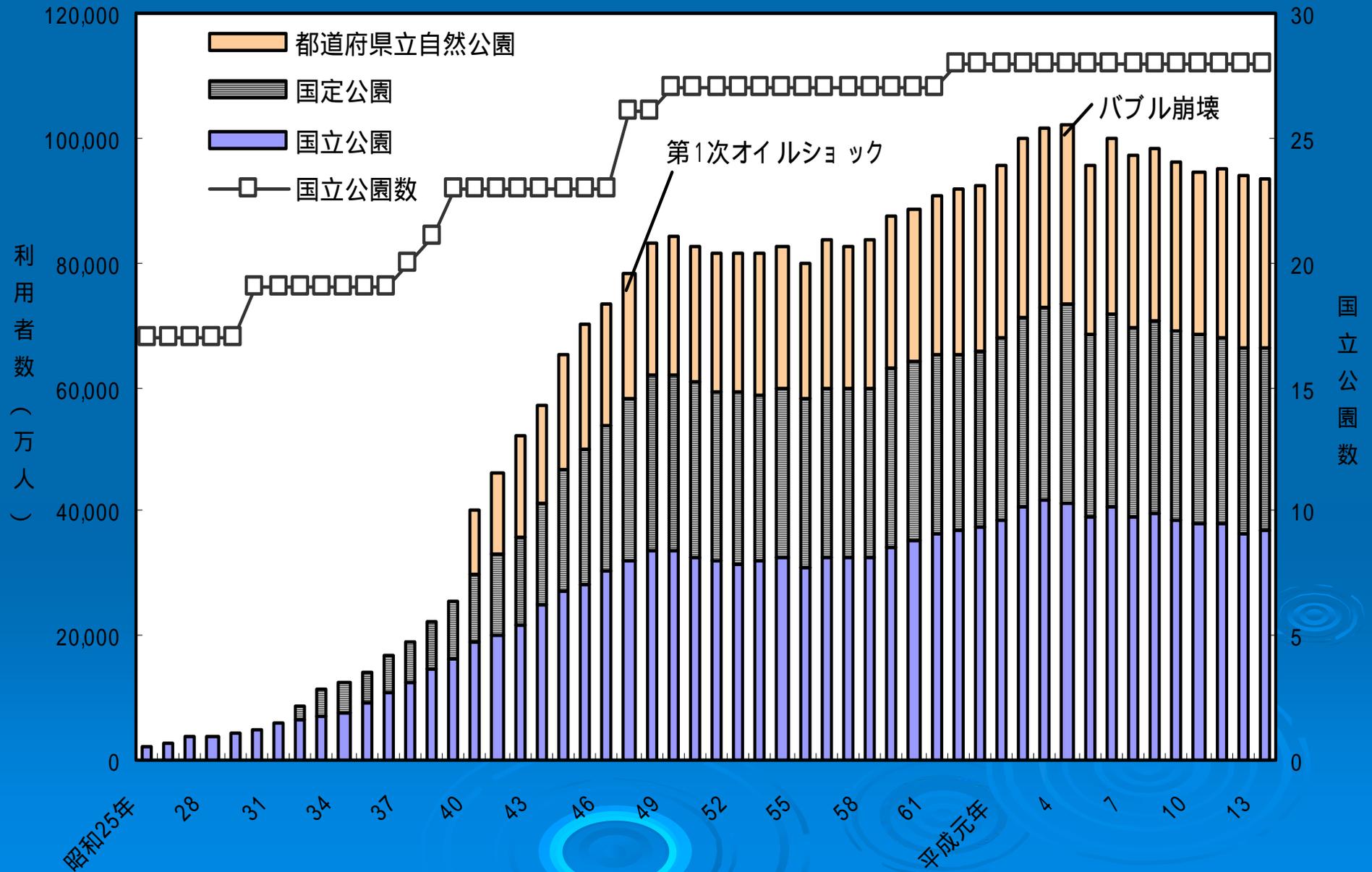
平成 2年 普通地域におけるゴルフ場建設計画に対  
する取扱指針等を策定

平成 3年 スキー場事業の取扱に関する留意事項  
(保存緑地の確保など)等を策定

# 集団施設地区の利用動向



# 国立公園数と自然公園利用者数の推移

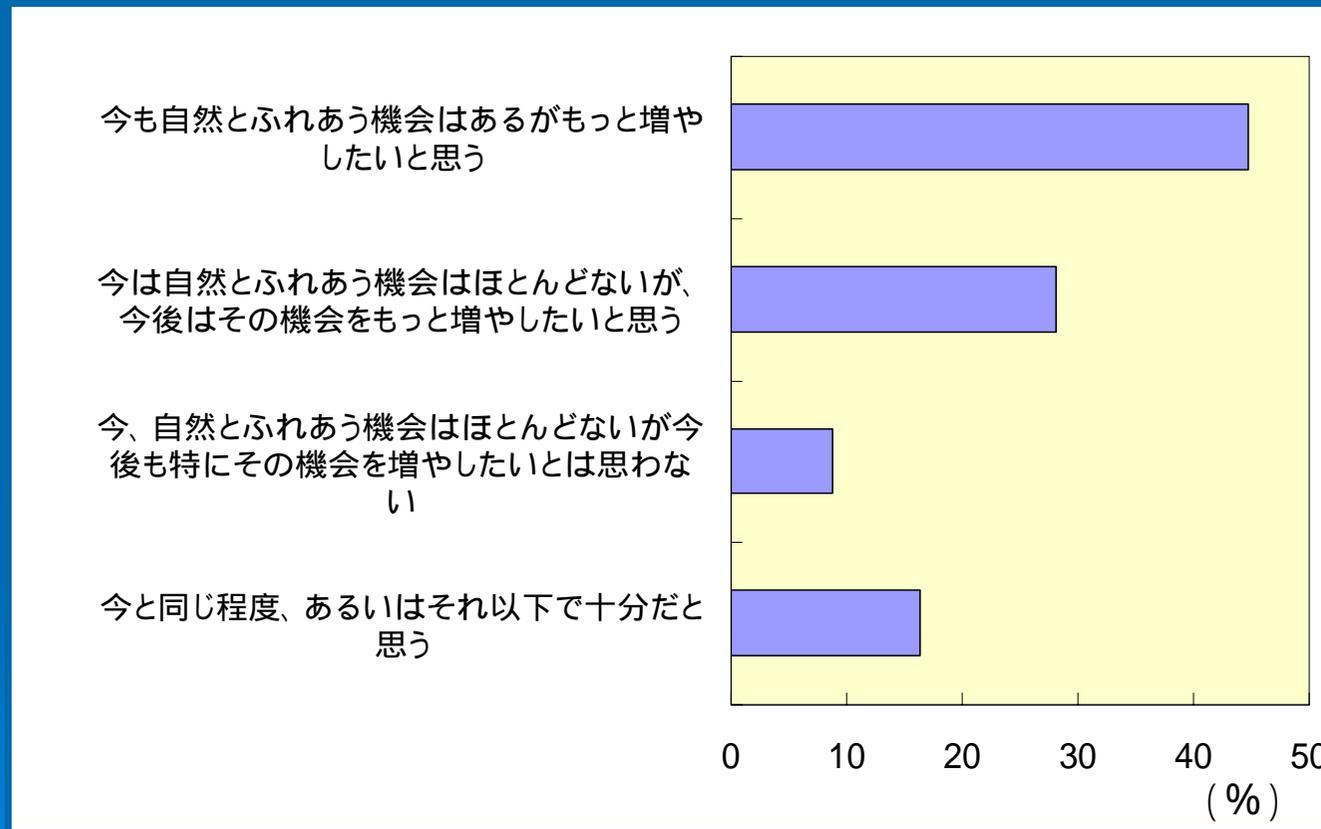


# 観光面からの利用拠点の 発展に向けた施策と課題

- 関係者による地区の将来像の共有
- 官民の連携及び役割分担の明確化
- 利用拠点整備(自然公園等施設整備)
- 拠点地区内のデザインの統一等

## (4) 自然体験利用の場の提供

自然とふれあう機会をもっと増やしたいと思うか

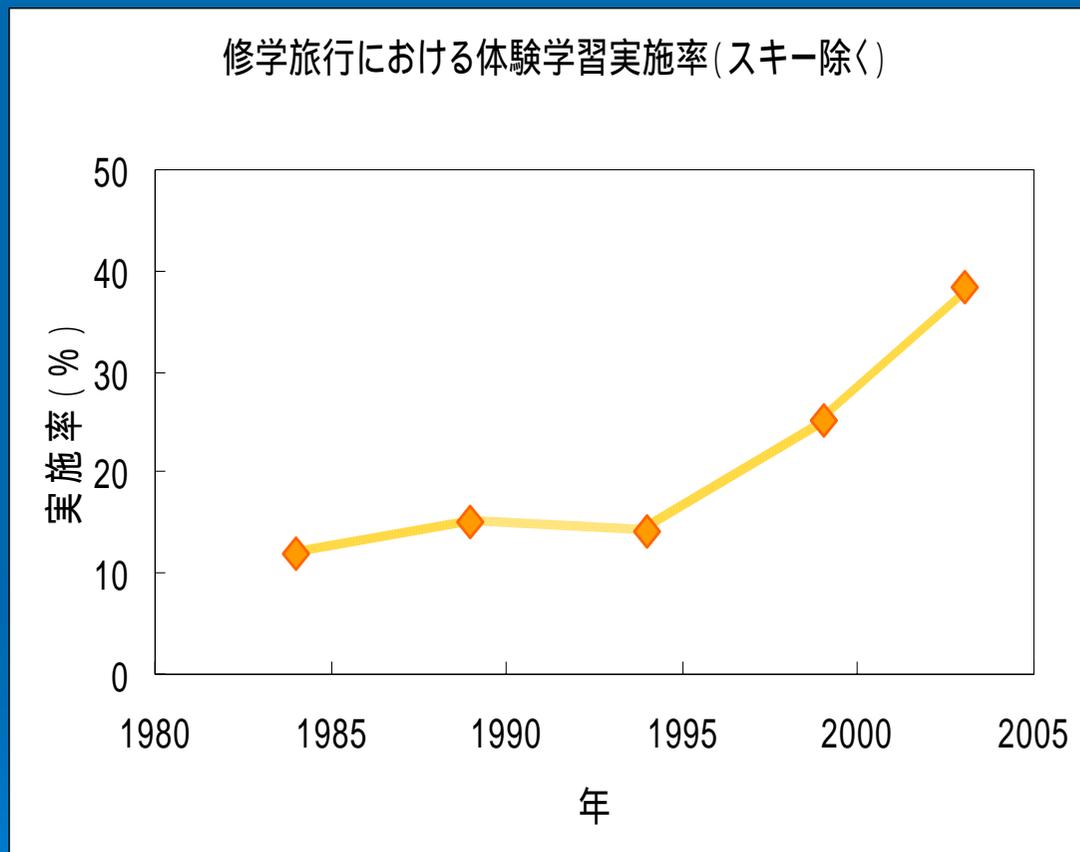


「増やしたいと思う」が72.8%

自然の保護と利用に関する世論調査(内閣府,2001)

# 修学旅行の動向

修学旅行における体験学習実施率(スキー除く)



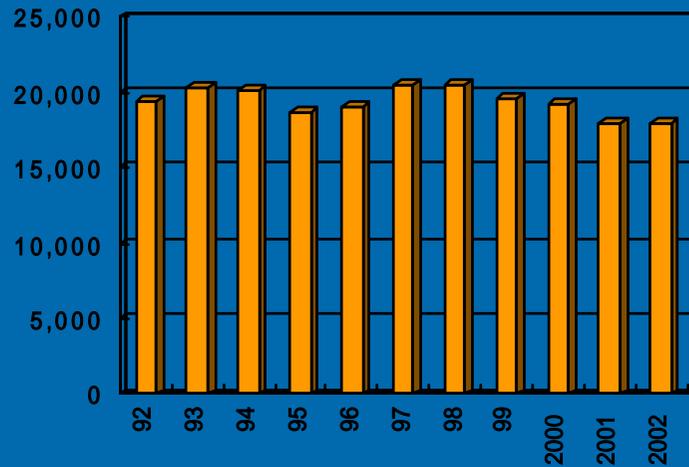
## 主な体験活動

- 陶器の絵付き
- マリンスポーツ
- カヌー
- ダイビング
- 自然体験
- 釣り
- ホエールウォッチング
- そば・うどん打ち
- ラフティング

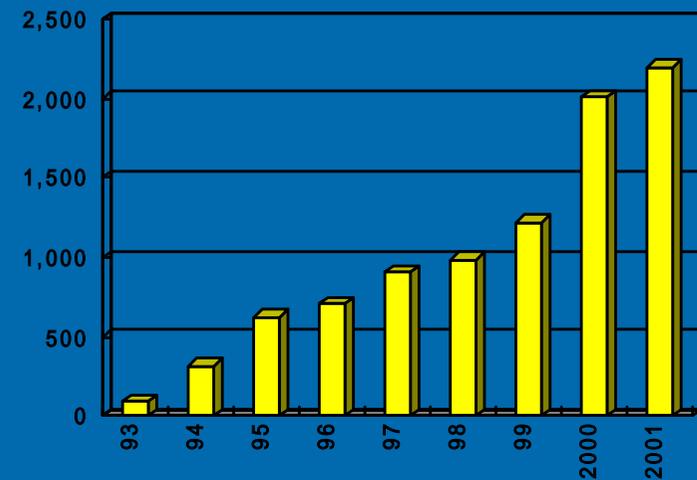
「修学旅行のすべて」より引用

# エコツアーの利用動向

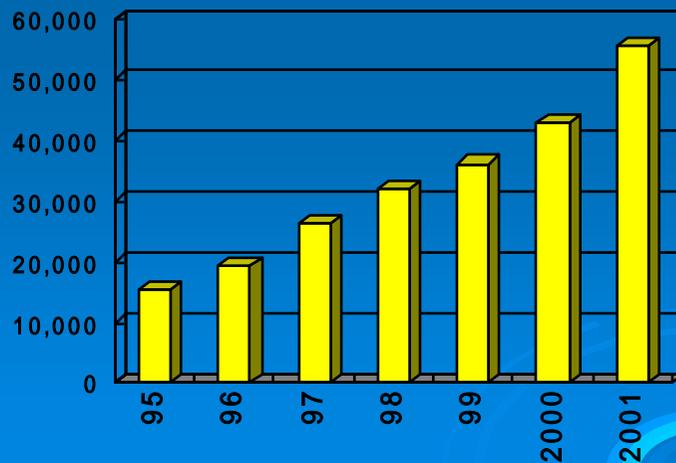
グラフ1: 宿泊観光レクリエーション旅行量  
(延べ人数: 万人 出所: 「観光白書」)



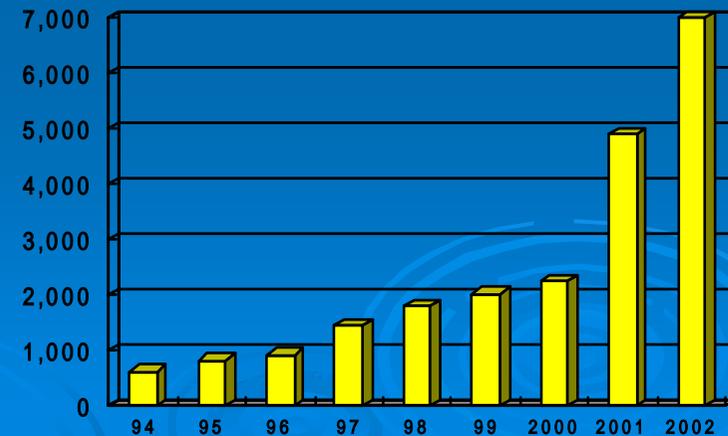
グラフ2: 屋久島野外活動総合センター参加者数(人)



グラフ3: ホールアース自然学校参加生徒数(人)

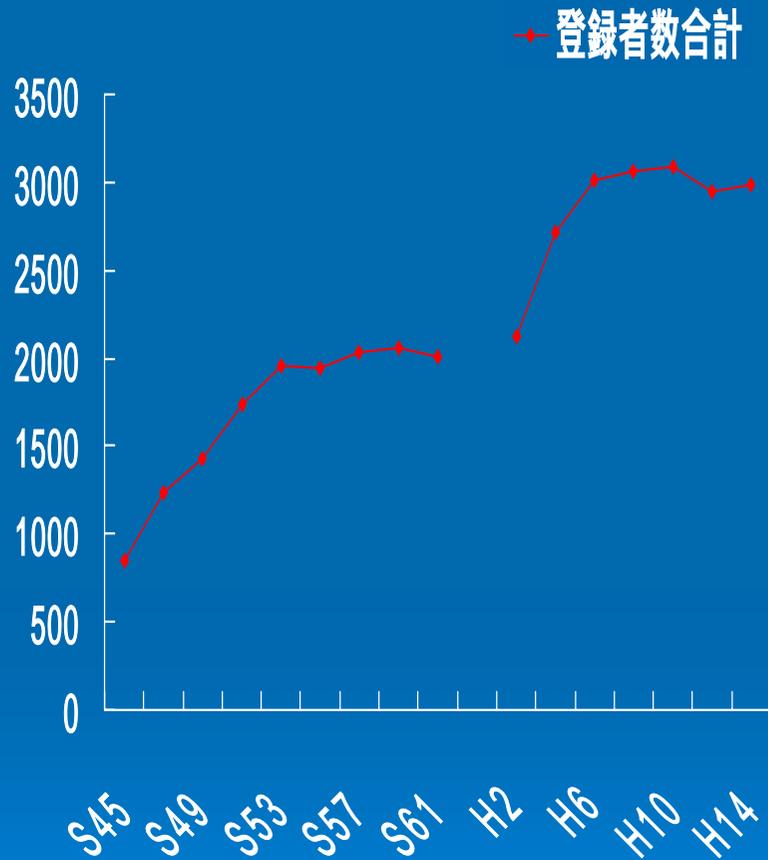


グラフ4: 星野リゾート・ピッキオ売上(万円)

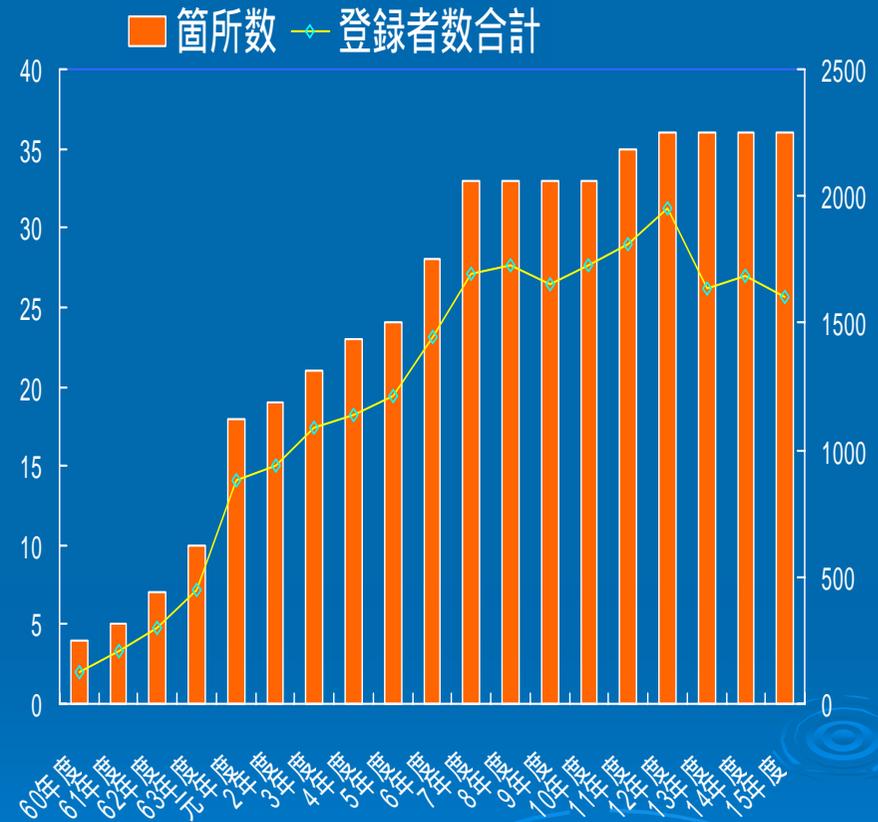


第1回エコツーリズム推進会議資料より引用

# 自然公園指導員及びパークボランティアの推移



自然公園指導員の登録者数



パークボランティアの活動箇所と登録者数

# 自然体験利用の推進に向けた課題

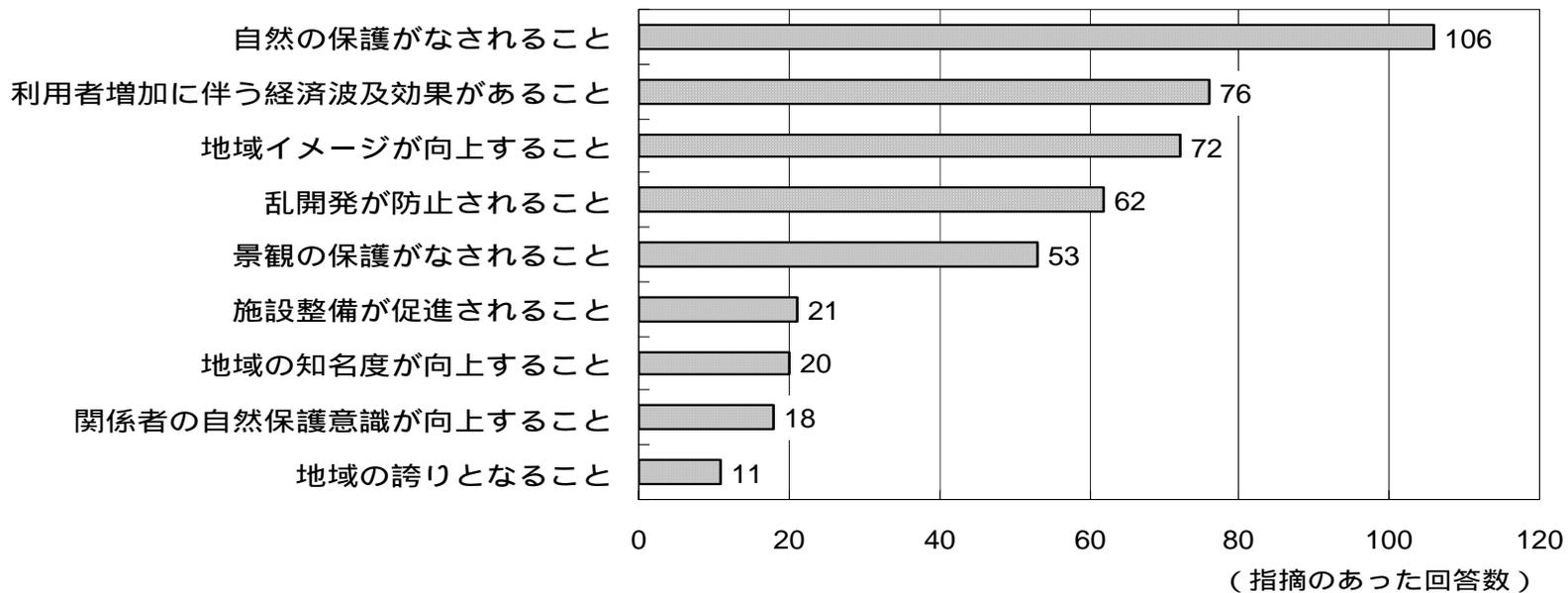
- 自然ガイドの活用
  - 公園事業へのソフト概念の導入
  - 利用許容度に関する知見の集積
- 

## (5) その他副次的な役割

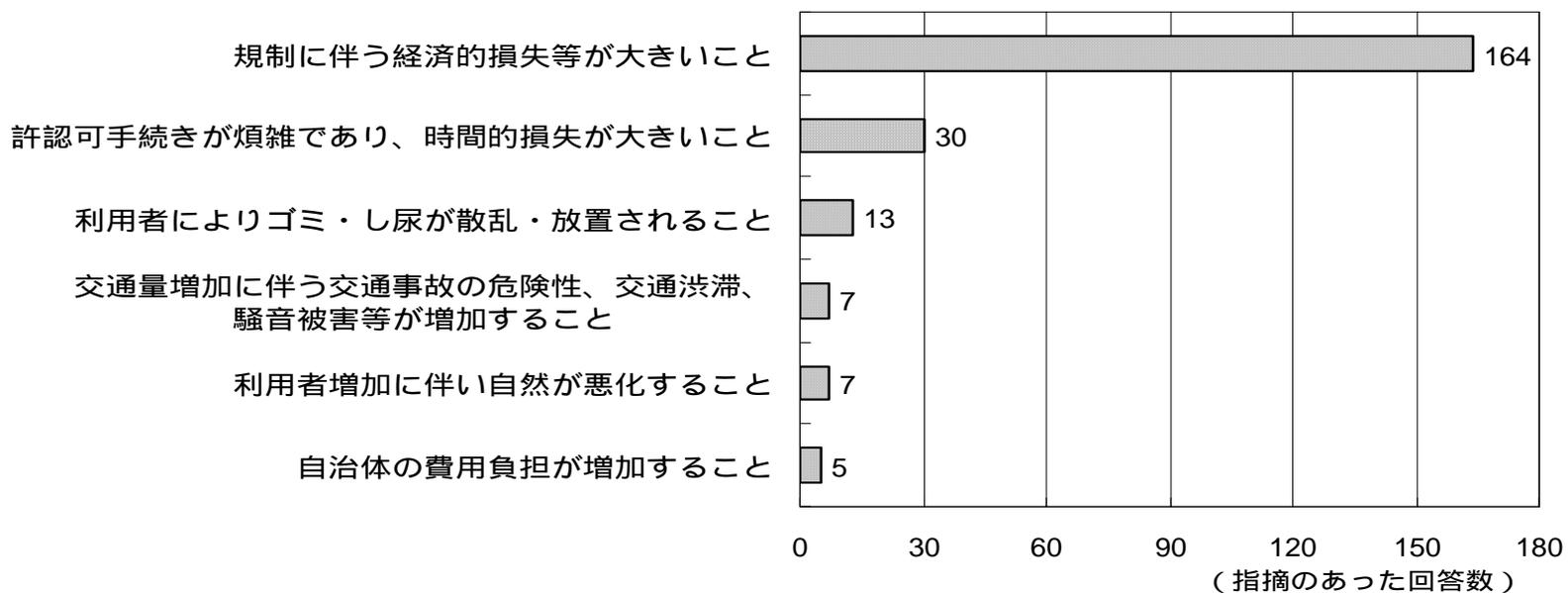
- 地域振興に活用できる潜在的な価値
  - 地域のイメージ・知名度の向上
  - 防災面における役割
  - 学術研究の場の保全
- 

# 地方自治体から見た国立公園指定のメリット・デメリット

メリット



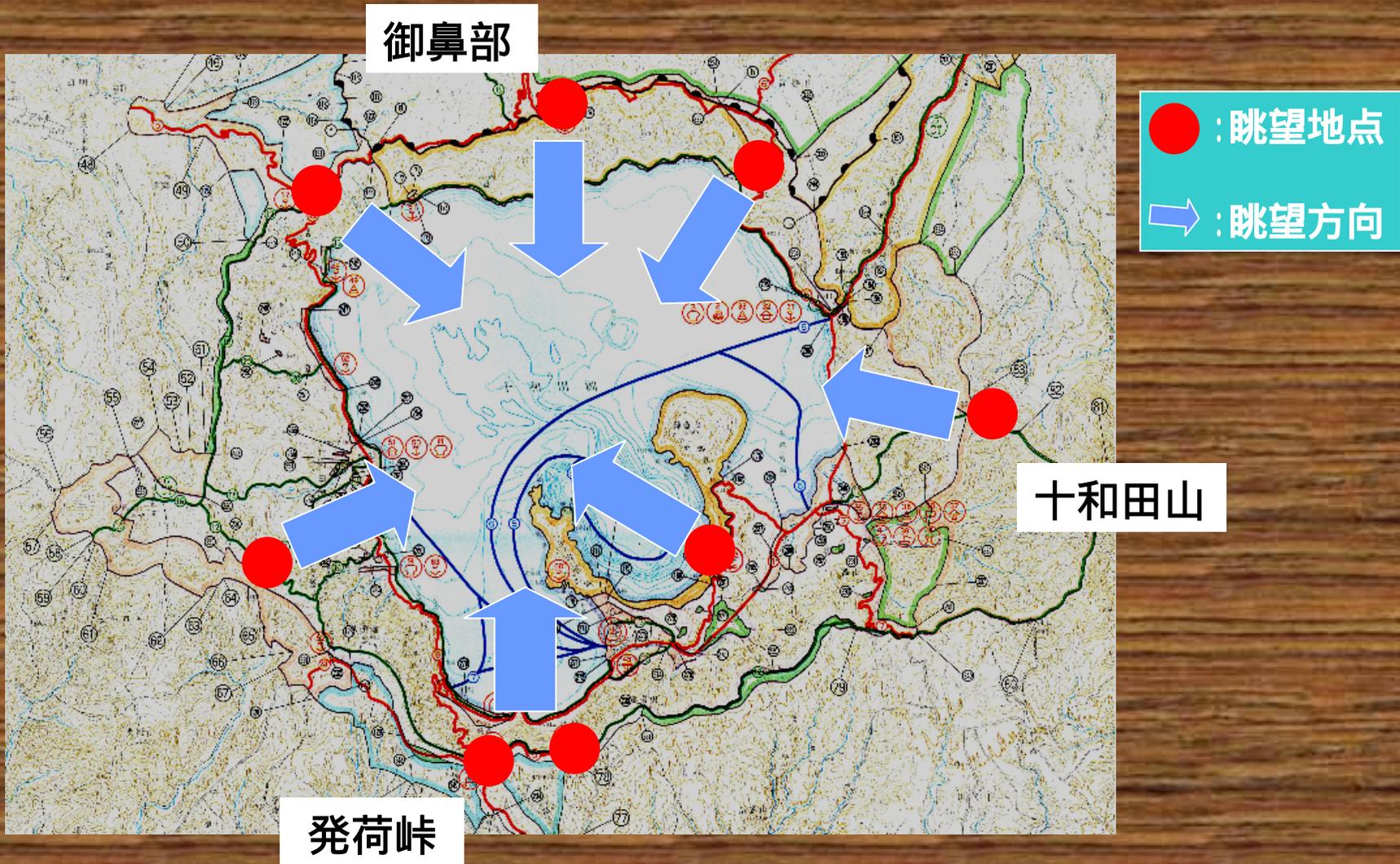
デメリット



# 国立公園の事例

- (1) 風致景観及び生物多様性の保護
- (2) 観光・野外レクリエーション・自然体験利用

# 十和田湖周辺の公園計画



# 各展望台からの十和田湖の眺望



御鼻部山

著作権の関係で掲載不可

十和田山

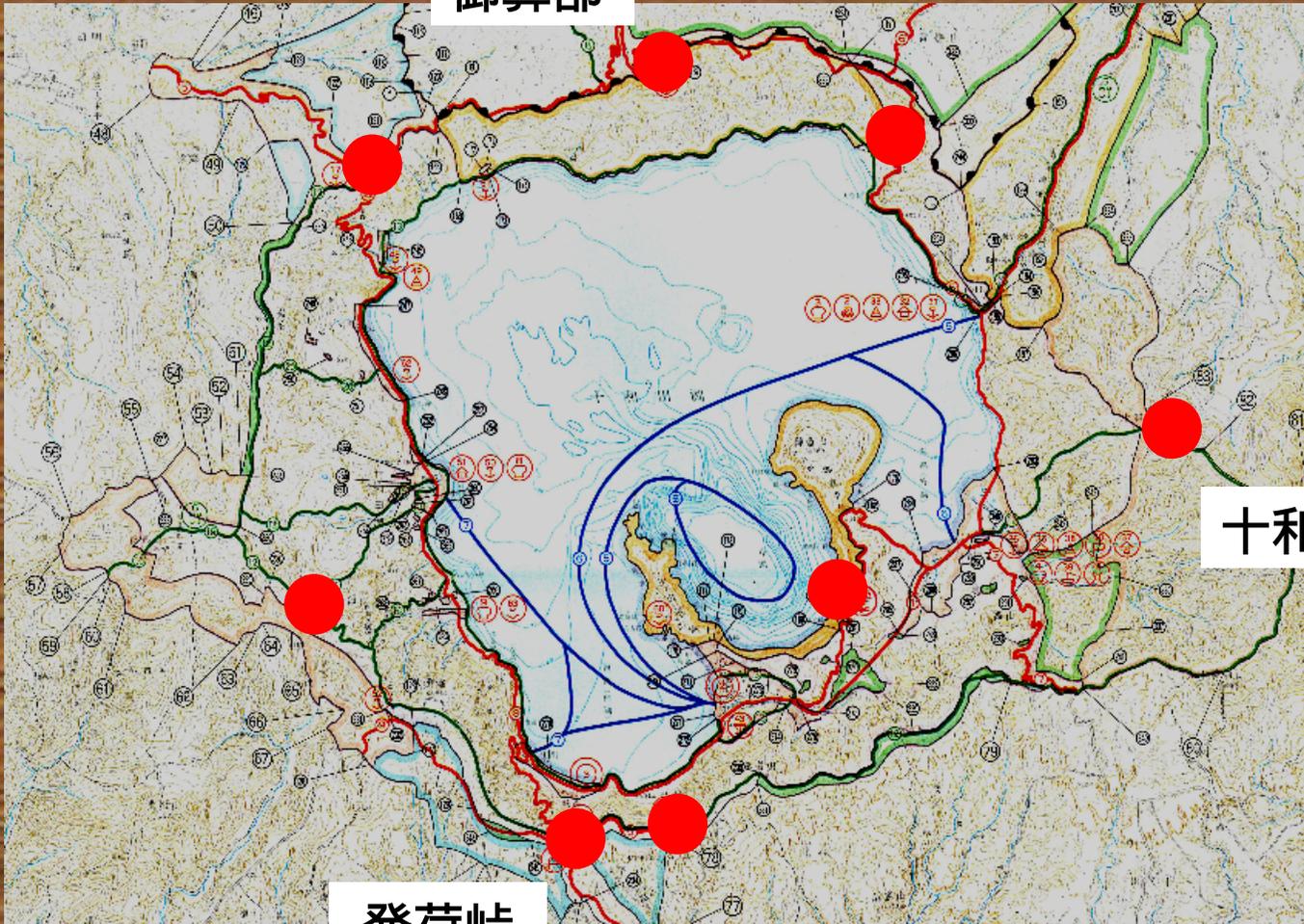
著作権の関係で掲載不可

発荷峠

# 十和田湖周辺の公園計画

御鼻部

● : 眺望地点



十和田山

発荷峠

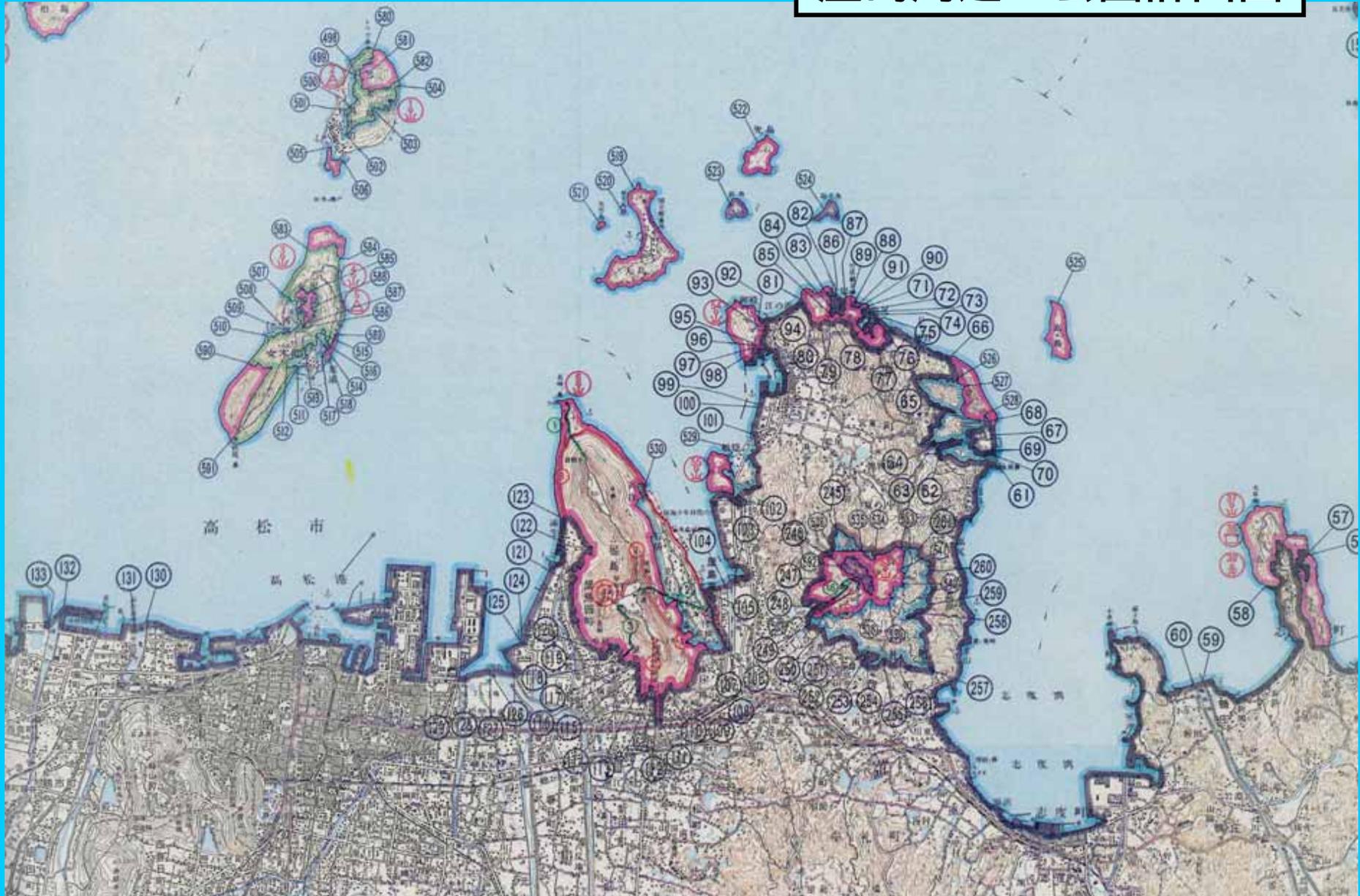
著作権の関係で掲載不可

屋島（瀬戸内海国立公園）

著作権の関係で掲載不可

屋島（瀬戸内海国立公園）

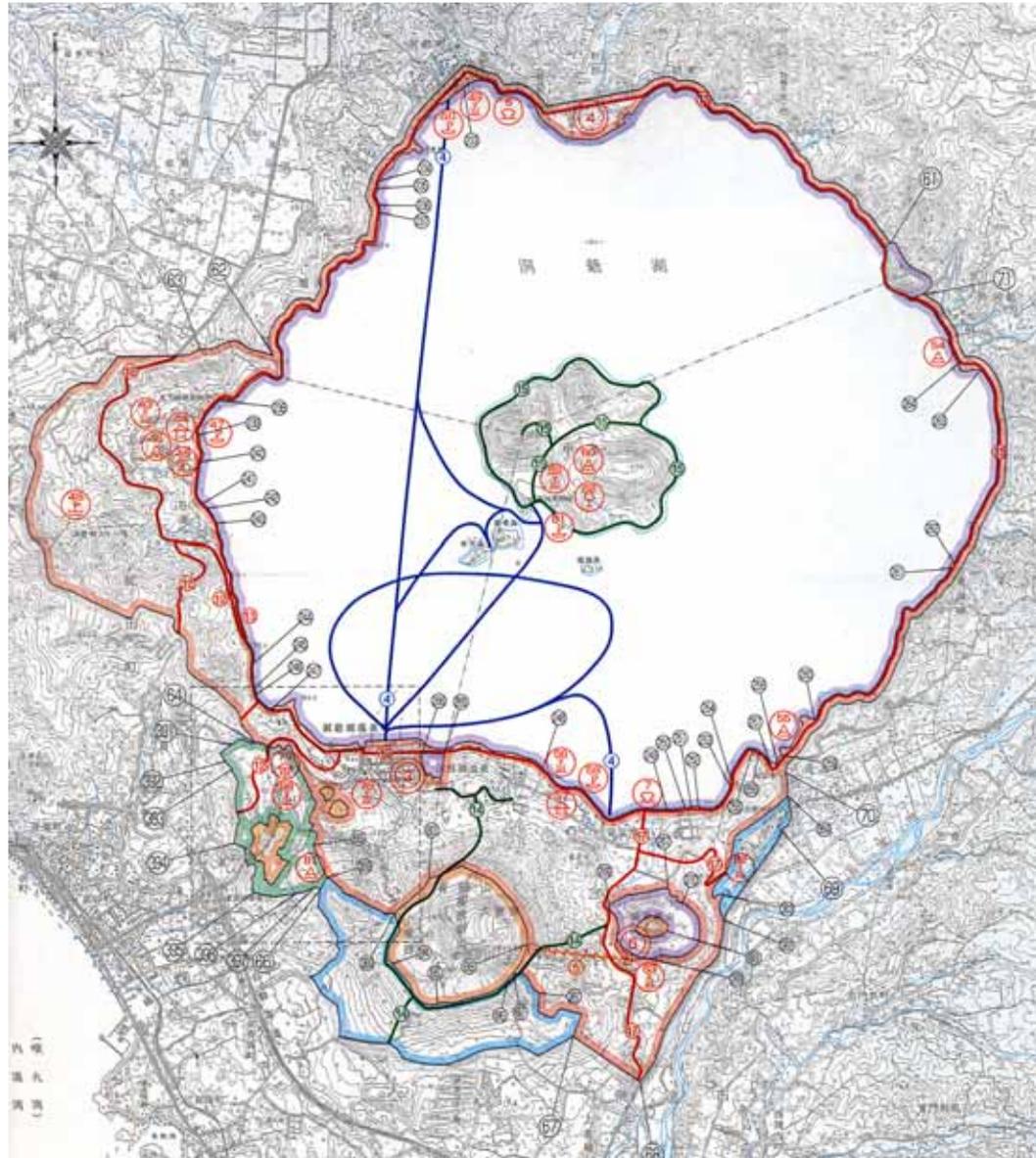
# 屋島周辺の公園計画図



著作権の関係で掲載不可

洞爺湖地域 (支笏洞爺国立公園)

# 洞爺湖地域の公園計画図



# 知床半島(知床国立公園)

著作権の関係で掲載不可

# 知床国立公園の公園計画図



# 自然体験利用の事例

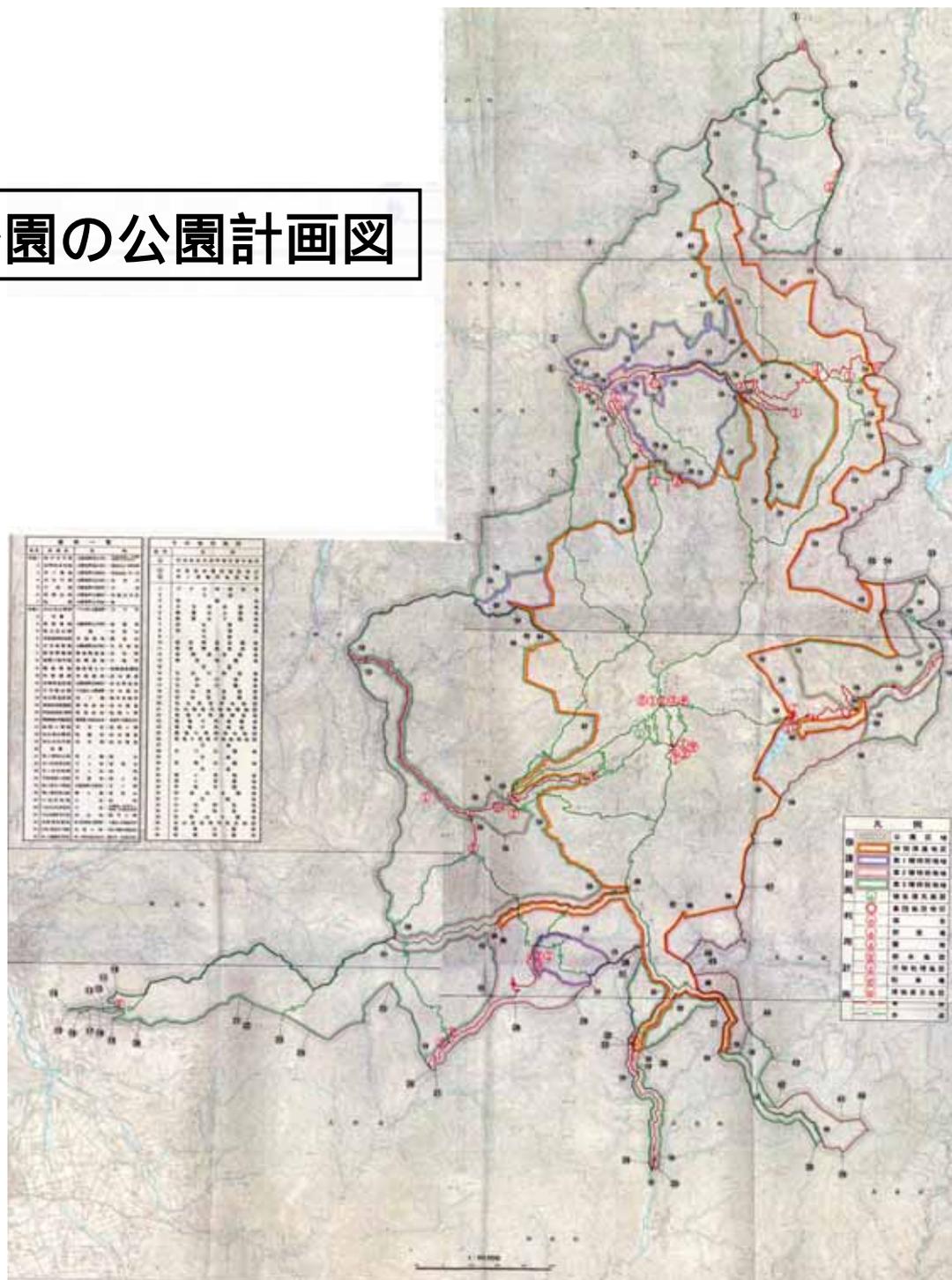
(知床国立公園)

著作権の関係で掲載不可

トレッキング

スキーハイキング

# 白山国立公園の公園計画図



# 日光国立公園尾瀬地域管理計画書 (平成9年9月)より

- **各公園事業の管理運営**
  - 自動販売機の建築物内部への設置
  - 屋外での殺虫剤等の使用自粛
- **駆除すべき移入植物**
  - 尾瀬外部から持ち込まれ、駆除すべき植物のリストを掲載
- **稀少種の保護**
  - 稀少種の増殖や再導入の際には、実施方法等について専門家による検討

# 中部山岳国立公園立山地域 管理計画書(平成13年10月)より

- **山小屋取扱要領**  
施設内容の取扱  
風呂や個室の設置方針
- **ペット類の持ち込み**  
ライチョウ等、小型野生動物への配慮
- **公園内の多様な利用**  
パラグライダー、スノーモービル等

# 管理計画のメリット・デメリット

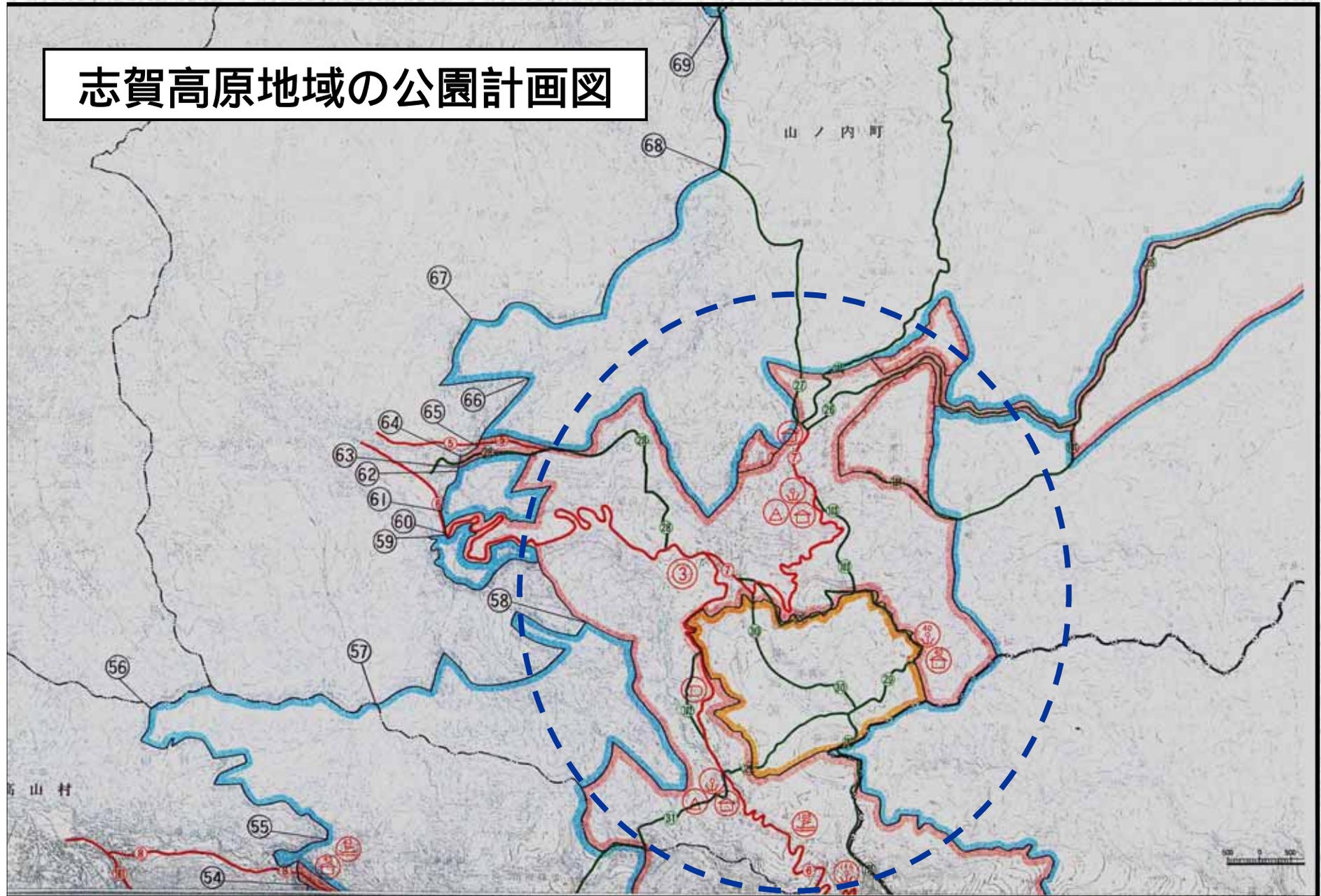
## メリット

- ・公園内の各地区の実状に応じたきめ細かな対応が可能
- ・地域のコンセンサスを得た取扱

## デメリット

- ・法に基づかない対処
- ・表現が不明瞭なものや、記述が不十分な事項が多い

# 志賀高原地域の公園計画図



## 志賀高原（上信越高原国立公園）

著作権の関係で  
掲載不可

著作権の関係で  
掲載不可

熊ノ湯

高天ヶ原

著作権の関係で掲載不可

上高地地区(中部山岳国立公園)